

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ②①

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- ボーナスが減っている中で、設備職場の「現場長会議」が温泉宿で一泊二日。しかも費用は会社負担。それっておかしくないですか？
きっと他にもあるはず。もっと明らかにしていくべきだ！
- ボーナスを減額する前に減らせる費用はあるはず。本当に社員のことを考えるなら0.8ヶ月出すべきだ！
- 会社回答書を何回読んでも頭に来る！大いに期待しているのであれば、モチベーションの上がる回答を！
- 回答を聞いた時は「マジか！」って思いました。儲かっているときには横ばいで、下がったら下げる。「変革 2027」を担うために出向し、会社施策を担っているのに、何なの？その気になる訳ないじゃん。経済をまわすためにも、経済をJR社員が担うためにも追加支給をするべきではないか？
- 払う余裕があるなら支払って、経済をまわさないで、業績も回復しないぞ！
- 出せる体力は十分にある！コロナ手当も出せ！コロナ禍だけど、みんなの力をあわせて最後まで頑張ろう！
- 0.8ヶ月の乖離をなんとしても埋めて欲しい！上げられるときにあげない会社。下げるときはしっかりと下げる会社の姿勢を許せません！追加支給の交渉、頑張りましょう！
- 人件費の削減に手をつける前に、他にもできることがあるはず！年末手当の追加支給を求めます！
- 「生活給」と会社は認識しつつも低額回答であった。会社と交渉できるのは労働組合だけです。「安定支給する」と言っている以上、きちんと数字で出してください！
- ボーナスが足りない！追加支給を勝ち取りましょう！
- 会社は「全く社員の声を聞かない」「社員の苦勞している姿を見ない」ことが鮮明に現れたと思います。労働組合は組合員の声を大切にする！その姿勢を最後まで貫いてほしいし、闘う姿勢は組合員に勇気を与えます。最後まで闘いましょう！